

* 中村／近藤実験の関連事項

* FDC2 ガス

* 3/23(金)までの commissioning 中

- * He : MFC=181(CF=1.0) 約 239 cc/min、残量=6.2MPa

- * C₂H₆ : MFC=500(CF=1.0) 約 236 cc/min、残量=?

* 3/24(土)に流量校正後、ガス流量をしぼる

- * He : MFC=31(CF=1.0) 約 39 cc/min、

- * C₂H₆ : MFC=80(CF=1.0) 約 39 cc/min、

- * 合計流量は flow meter で約 95cc/min (He+60%CH₄ 用、coef=0.81 換算で 77 cc/min)であり、ほぼ正しい。

- * C₂H₆ は 2本のポンペを並列に接続し、最初のポンペ (一次残圧 1.3Mpa、気体のみ)が切れても、新品の 2本目(10kg)からガスが供給されるようにした(つもりだったのだが)。

* 4/10(火) 11 時頃、理研で確認した時、C₂H₆ の 2本目のポンペのバルブが閉まっていた (? ?)、He だけが流れていた。かなりきつくしまっていたので、意識的に閉められたものと思うが、3/24 から 4/10 の間のいつの時点でバルブが閉められたか不明。

- * 1本目 C₂H₆ は空になっていた (約 520L は流れたはず)。

- * 閉められていた 2本目 C₂H₆ のバルブを開ける @11:30 頃。

- * この期間(約 17 日間)に流れたガス量の予想は約 950L : He は約 2Mpa 減、C₂H₆ 重量~1.3kg。

* commissioning の時は、直前までどの混合ガスを使うか不明だったので、2種気体を混合して使ったが、流量変更に伴いガス比率が変わる可能性が高い事を考えると、以後 Pre Mix のガスを使用すべきだろう。ただし He+50% C₂H₆ は圧力が 4.8Mpa (約 2200L) と低いので、5回置換に約 4本必要。どちらにしる、理研に常駐していない人間にとってガス置換の調整/モニター、HV conditioningなどはやっかい。

* 5月の実験終了後は、窒素を流す予定。

* SBT

- * 有効領域 120mmx120mm、厚さ 0.5mm の SBT を 2組準備中 : GTEC が忙しいらしく、まだ返事がないが、遅くとも 4/30(月)までに必要と伝えてある。

- * 0.5mm 厚シンチは過去は殆ど失敗作だったので、新しい接着方式を試してみる。

- * PMT (H1949) は、手持ちの 100x100x0.5mm SBT 2台を分解して再利用した。

* FDC2, HOD 位置

- * 立ち会いたいので移動する時は連絡下さい。

- * HODP は使用しませんね?

- * HODF の後方に ICF を置いて試験したいのですがいいでしょうか?

- * 小林： 5月の実験期間中、理研に不在の期間
 - * 5/6(日)夜 - 5/7(月)夜
 - * 5/13(日)夜 - 5/14(月)夜
 - * 5/18(金)昼 - 5/21(月)夜

- * PDC

- * 2台を4/10(火)に搬入： B3F 北端に仮置。
- * うち1台を東北大に搬出予定。
 - * 4/24(火) 8:00 理研 → 4/25(水) 9:00 東北大
- * 位置分解能測定の為の reference chamber (有効領域 600x460) 2台を準備中

- * TED (千賀)

- * 外箱 (暗箱+磁気遮蔽+32個結晶架台) の組立中
 - * 全面が磁気シールド (鉄+パーマロイ) になっているので重い



- * コネクターが若干不足

- * 位置検出器の wire 位置などの情報

- * 以下に整理中
 - * <http://lambda.phys.tohoku.ac.jp/~kobayash/samuraiC/pos/pos.html>
 - * FDC1 に関しては、以前の2つのメモや資料が矛盾しているのので、確認するまでもう少し待って下さい。直前に向きを変えたこともあり混乱しています。

- * Proposal

- * 4/13(金)の相談をベースに、4/23(月)目標で第一稿の予定。